



## 警告

- 作業員を乗せての吊上げは危険ですので行わないでください。
- 吊上げに使用するワイヤロープは本機の質量に対して、じゅうぶん強度のあるものを使用してください。
- ブームのトサカ部の丸棒は吊上げ用に取り付けたものではありません。危険ですから丸棒にワイヤロープを用いて吊り上げないでください。
- ブームおよびブレードの穴部にシャックルを通して吊り上げる時は、安全のため必ず2か所で吊り上げてください。

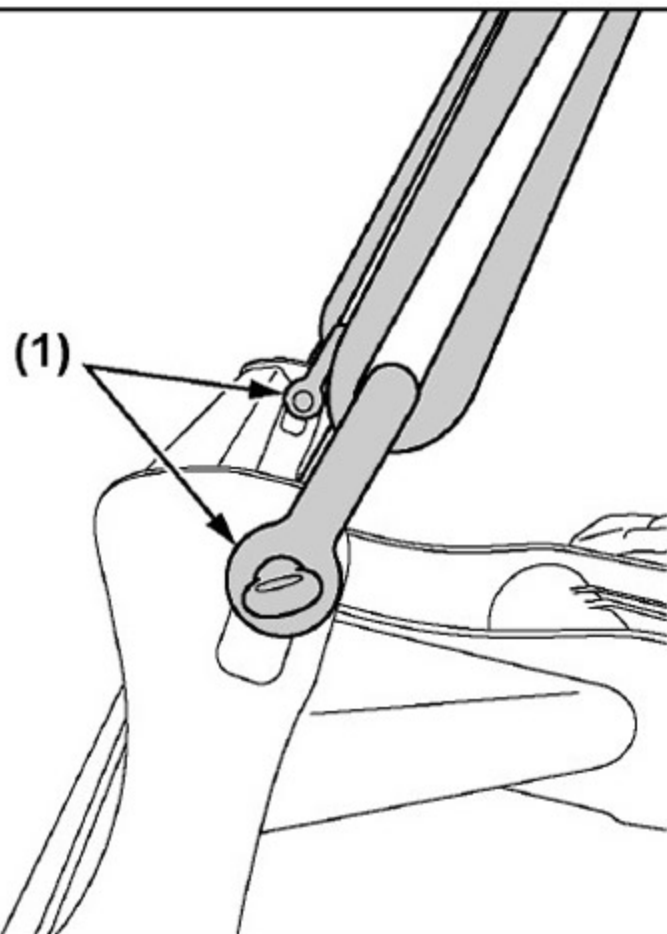
### 補足：

- 吊り上げるときは、重心位置に注意してバランスをじゅうぶんにとってください。
- ブームをスイングさせたり、上部を旋回させた状態にして吊り上げないでください。

機体を吊り上げるときは、次の要領で行ってください。

1. ブレードの位置が作業機と 180°逆になるように上部旋回体を旋回します。
2. ブレードをいっぱいまで上げます。
3. ブームを上げ、バケット、アームをいっぱいまでかき込みます。
4. 作業機操作ロックレバーをロックします。
5. ブームをスイングしない状態で、スイングペダルを中立にして、ペダルカバーをかけエンジンを停止します。
6. ブレード両端の穴部にシャックル (3.2 t 以上) を通してワイヤロープをかけ、またブーム上部の穴部 2 か所にシャックル (2 t 以上) を通してワイヤロープをかけます。

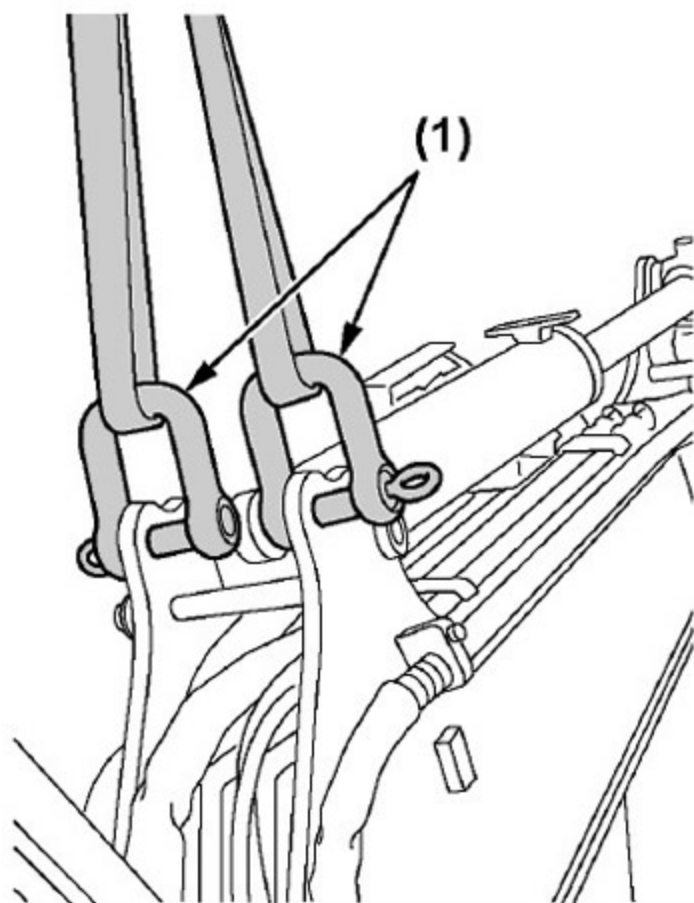
# [ブレード両端]



1DGWC00238A01

(1) シャックル (2 個)

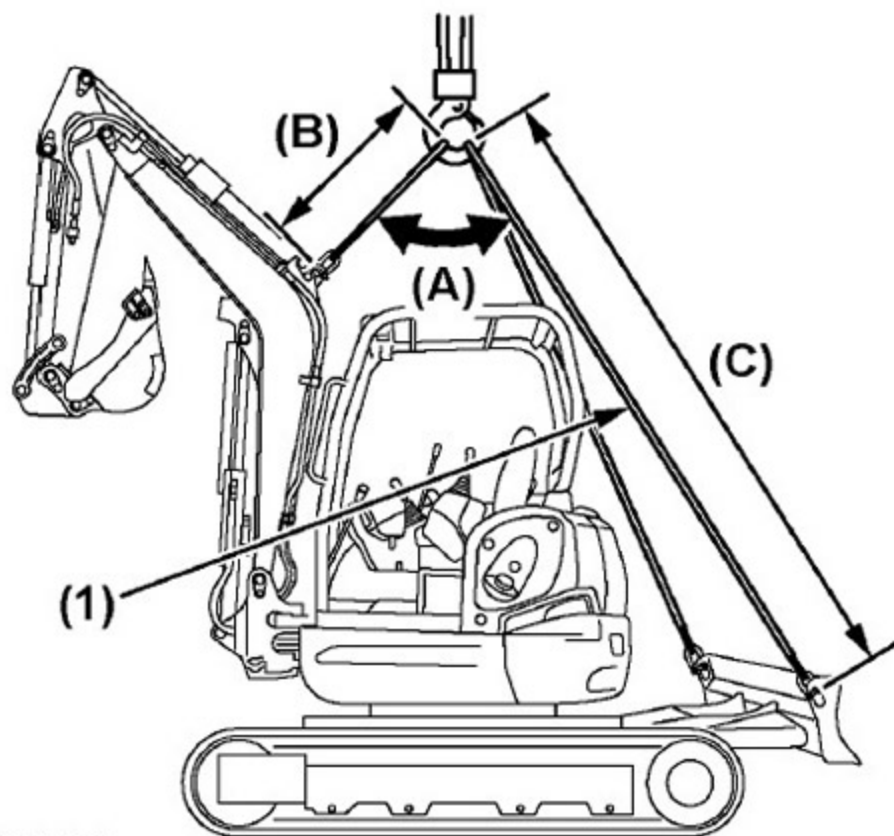
# 【ブーム上部】



1DGWC00315B01

(1) シヤックル (2 個)

7. ワイヤロープの吊り角度を約  $60^{\circ}$  にして吊り上げます。ワイヤロープの長さは図を参照してください。



1DGWC00239A01

(1) ワイヤロープ

(A) 約  $60^{\circ}$

(B) 1.08 m

(C) U40-6S2:3.61 m、  
U55-6S2:3.68 m